

■ プロジェクトの成り立ち

2011年3月11日の東日本大震災の後、フランス国内で日本の被災地復興のためにお役に立ちたいという声が高まりました。フェール城桜協会におきましても、35年間日本と深いかわりのある建築家リシャール・ブリア副理事の下で、復興を支援するためのプロジェクトを開始し、以来多くの募金活動を行って参りました。

始まりは2011年5月15日にフェール城で行われた、馬術アーティスト・バルタバスのパフォーマンスのチャリティーイベントでした。そして5月30日には「FP ジュルヌ」と「クリスティーズ香港」は、コレクターが垂涎的である新しい時計を競売にかけ、この分野ではかつてないほどの高値で落札されました。東京のスイス大使館で、ウルス・ブーヘル駐日スイス大使が見守る中フランソワ・ポール・ジュルヌ社長は、リシャール・ブリアに寄付総額 3,096 万 9476 円を手渡して下さいました。

9月13日パリでは200人以上の人が集まり、「Kenzo」の昔の住宅で、カロリンヌ・ムーランが主催の、「Beauty for Japan(日本に捧げる美)」という素晴らしいプログラムが開催されました。茶道、華道を経験し、日本食を堪能し、日本の洗練と美を学びました。このプログラムでは2万ユーロ以上の募金が集まりました。

このような数々のイベントを通じてフランス国民や企業から寄付金を募り、33,000,000 円余りの寄付金を集めることができました。

現在その思いを具体的なかたちとすべく、「子供と高齢者のためのコミュニティーハウス」のご提案を作成いたしました。

国土交通省と宮城県のご指導の下、石巻市長並びに石巻市役所の職員の方々のご好意により、その建設地として石巻市鹿妻町を選定していただきましたことを、心からうれしく思います。

今後、皆さまの復興にかけのお力と熱意をいただくことで、一同精一杯の力を発揮し、完成を目指したいと思います。



朝日新聞
シャトー＝ティエリー市長
ジャック・クラバル氏。
フェール城日仏協会理事長
リシャール・ブリア
エーヌ県庁バルタバ氏と
ピエール・パイル氏



香港クリスティーズでの F.P. ジュルヌ
の競売



東京のスイス大使館での寄付金の
引き渡し。F.P. ジュルヌ社長、リ
シャール・ブリア、駐日スイス連
邦ウルス・ブーヘル大使、クリ
スティーズ日本・チエ・パンタさん



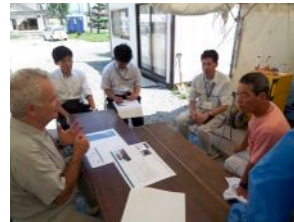
Beauty for Japan (日本に捧げる
美)
主催者カロリンヌ・ムーランとリ
シャール・ブリア



宮城県 保健福祉部医療整備課
課長 伊藤氏と



石巻市長 亀山氏と



現地にて鹿妻南町内会長と



地区町内会長への説明会

■ プロジェクトの概要

このコミュニティーハウスは、仙台の東にある石巻市鹿妻南という津波の被害を大きく受けた町に建設されます。

亀山紘石巻市長、市役所職員、町内会長のご協力で練り上げられた約 90 坪の木造のコミュニティーハウスです。

・施設概要

住所：宮城県石巻市鹿妻南 2-319-1

敷地面積：約 2760m²

規模：床面積／約 300m²(約 90 坪) 木造平屋建て

工事期間：2012 年 1 月中旬～3 月末日、4 月 1 日引き渡し予定



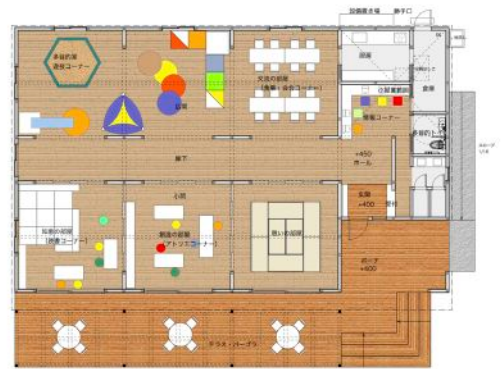
フランスでのチャリティーと同時に、日本でもさまざまな企業やメーカーのご支援、ご協力を呼びかけました。

多数の企業が協賛していただき、現在まで約 3000 万円相当の物資をご支援いただくことが出来ました。

これらの支援を得て、同コミュニティハウスは、地場産の木材、自然素材をふんだんに使用した環境への配慮、様々な省エネの工夫を凝らした木のぬくもりのある建物となります。

地元の自治体が運営し、子供たちや高齢者の集いの場・町の人々の集会場・地域に根ざした情報交換の場・カルチャーセンター等のさまざまな用途に利用できる施設となります。

2012 年 4 月に石巻市に贈られる予定です。



・マスタープラン

2760m²の敷地は将来コミュニティー広場、子供たちの運動場、防災倉庫の増築が予定されています。

復興に向けて地域の拠点となるような施設を目指しています。

・平面図（利用形態一例）

広々とした廊下を中心に、天井の高い「広間」とほどよいくつろぎ感がある「小間」が設けられます。

それぞれが約9坪の「部屋」に仕切られることで、様々な利用方法が可能な、フレキシブルな空間が生まれます。



■ 未来へ向けて

フェール城桜協会はこの施設が完成した後も暖かく見守り続けていきます。

フランスと日本の交流の場として、様々なイベント、カルチャースクール等の開催を支援していきます。

・皆さまへのお願い

この施設にはまだ「名前」がありません。皆さまからふさわしい施設名を公募したいと思います。

また今回でこの施設の全てが完成するわけではありません。

子供たちの遊具、イベント、行事を開催するための家具や備品類が足りません。

マスタープランを創り上げる外構計画がまだ完成に至りません。

今後も皆さまのご支援をいただくことで、この施設が石巻市の住民の皆さまと成長していければと考えています。

よろしくお願いいたします。



